

	社長	環境管理責任者		事務局
承認			作成	

# 2010年度

# EA21環境活動レポート

活動期間：2009年10月1日～2010年9月30日



## 山野井精機株式会社

2010年10月25日 発行

## 基本理念

当社は、金属製品の開発⇒設計⇒組立の一貫した生産体制のもと、“人に喜ばれる製品作り”を基本理念とし、今ある素晴らしい自然環境をこれからも残したい、より良い環境にしたいという願いから、社員一人一人が自主的に環境活動への取り組みを進め資源の節約、循環型社会の構築に努めます。

## 環境方針

- ① 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守
- ② 二酸化炭素排出量の削減(エネルギーの節約)
- ③ 循環型社会の構築の為に、廃棄物の削減と分別処理の徹底  
(紙類・ウエス等の使用量の削減とリサイクル推進)
- ④ 水資源の節約
- ⑤ 環境に配慮した製品の開発・販売促進
- ⑥ 資源の有効利用を図るため、不良品低減への取組
- ⑦ 事務用品のグリーン購入の推進
- ⑧ 環境目標・活動計画を策定して実行すると共に、定期的に見直します
- ⑨ この方針を全社員に周知して実行すると共に、一般に公開します

平成20年1月7日

山野井精機株式会社

代表取締役社長 山野井 周一

商号	山野井精機株式会社
所在地	本 社 / 〒300-2347 茨城県つくばみらい市豊体1670-3 TEL:0297-58-1211(代) FAX:0297-58-1215 牛久工場 / 〒300-1283 茨城県牛久市奥原町1650-10 TEL:029-875-2121(代) FAX:029-875-2123 田園倉庫 / 〒300-2347 茨城県つくばみらい市豊体562-10 本社駐車場 / 〒300-2347 茨城県つくばみらい市豊体1647-1
設立	昭和43年10月
資本金	8,000万円
代表者	代表取締役社長 山野井 周一
従業員数	63名 (2010年9月30日現在)
環境管理責任者	品質管理課 部長 坂本 浩光
EA21事務局	営業課 山野井 智広
事業内容	ファイル・バインダーの製造と販売、順送式金型の設計・製作と販売、 及び自動組立機の製造と販売

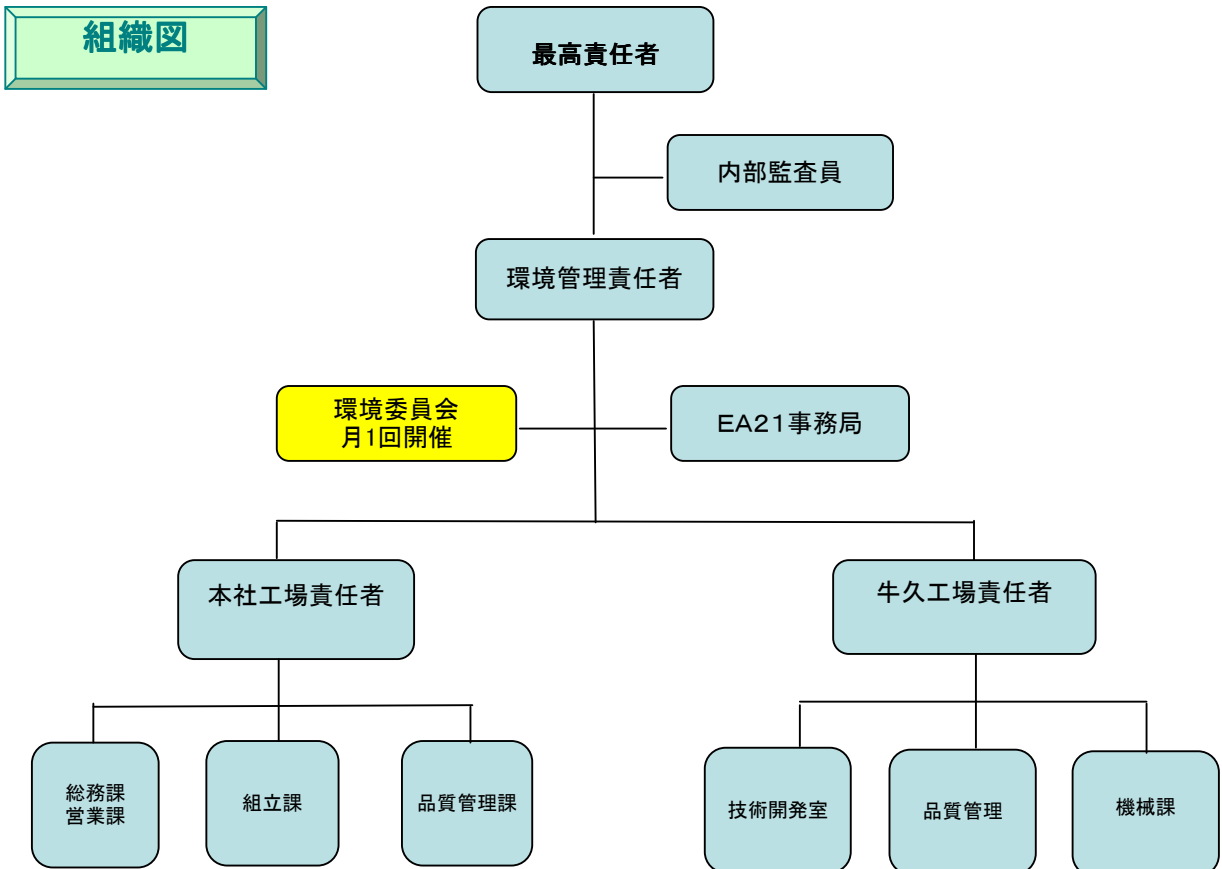


## 事業規模

活動規模	単位	2007年度(第39期)	2008年度(第40期)	2009年度(第41期)	2010年度(第42期)
主製品生産量	t	1,858	1,667	1,035	881
売上高	百万円	1,433	1,504	997	750
従業員	人	93	108	91	63
床面積	m <sup>2</sup>	8,336	8,336	8,336	7,312

\* 事業規模の期表示 : 前年10月1日～当年9月30日までの期間を1期とする

## 組織図



## 役割分担

最高責任者	①環境方針の策定 ②EA21の実行に必要な資源(人・物・金)の用意 ③EA21の全体的な取り組み状況を評価・見直しをし必要な指示を行う
環境管理責任者	①EA21環境経営システムの構築と運用 ②環境委員会を開催する ③管理者への環境教育 ④EA21全体の見直しに必要な情報収集(環境経営システムが有効に機能しているか、環境への取り組みは適切か、活動計画の達成状況等)と社長への報告
各工場責任者	①EA21環境経営システムの運用 ②工場ごとの環境活動計画の策定と進捗管理
各課の推進員	①担当課の環境教育推進 ②担当課の活動計画の策定と具体的な取り組み内容を実践し推進する ③環境活動結果の報告
一般従業員	①環境方針を理解して、環境保全への取組の重要性を認識する ②決められたことを守り、自主的・積極的に活動へ参加する ③法規制等を遵守する
内部監査員	* 下記事項を第三者的に監査・評価し、結果を代表者及び環境管理責任者に報告 ①環境経営システムがガイドラインの要求事項に適合しているか ②環境目標が達成されているか(達成できるか) ③環境活動計画が適切に実施され、パフォーマンスが向上しているか
環境委員会	①環境活動計画の進捗管理 ②環境に関する問題点の提起と解決策の検討 ③その他
事務局	①全体的な見直しの為に、必要なデータを集計する ②環境活動結果の取りまとめ ③環境活動レポートの作成 ④その他EA21に関する全般的事項

## 環境目標とその実績

2010年度 環境目標		基準年:2007年度 (第39期) 実績値	単位	2010年度 環境目標	2010年度 目標値	2010年度 実績	達成度合 (%)	2011年度 環境目標	2012年度 環境目標
使用量の削減 エネルギー	電気	1,058,520	kWh	-3%	1,026,765	616,884	*1 -40	-4%	-5%
	ガソリン	5,842	ℓ	-3%	5,668	5,786	2.1	-4%	-5%
	軽油	7,006	ℓ	-3%	6,796	2,146	-68.5	-4%	-5%
	灯油	3,067	ℓ	-3%	2,975	2,167	-27.2	-4%	-5%
	LPGガス(基準年:2009年度)	8,421	kg	-1%	8,336	11,611	39.3	-2%	-3%
二酸化炭素排出量の削減		484,544	kg-CO <sub>2</sub>	-3%	470,008	292,503	-37.8	-4%	-5%
廃棄物の削減(可燃・不燃ゴミ:単純焼却)		6,534	kg	-3%	6,338	3,245	-48.9	-4%	-5%
(金属クズ等:再生利用)		714,501	kg	-3%	693,066	404,077	-100	-4%	-5%
(廃油:再生利用)		2,400	ℓ	-3%	2,328	2,800	20.3	-4%	-5%
リサイクル品(新聞紙・PPバンド・ストレッチフィルム・古紙等)(基準年:2009年度)		19,179	kg	100%リサイクル	-	20,251	*2 100	-	-
水使用量		1,271	m <sup>3</sup>	-1.5%	1,252	1,207	-3.7	-2%	-2.5%
環境関連法規制の遵守		-	-	-	100%	100%	100	100%	100%
環境に配慮した製品の開発		-	-	-	1製品	0	-100	1製品	1製品
環境に配慮した製品の販売促進		71.0	t	+3%	73.1	82	12.2	+4%	+5%
不良品低減への取組		-	-	[標準工程外作業の短縮]	-	手直し時間報告 品質会議	*3	-	-
グリーン購入の推進		-	-	[工作油の脱塩素化]	-	工作油の脱塩素化 実施	*4	随時商品切り替え	-

注) \*1)購入電力 温室効果ガス排出量 [排出係数0.378(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)]

\*2)100%リサイクル実施 ※昨年度から「PPコンテナ」も全てリサイクル処理とした

\*3)各課からの不良報告(標準外工程作業の短縮と手直し作業時間の報告 委員会議事録掲載) また月1で品質会議を行い原因と対策

\*4)工作油の脱塩素化の実施 プレス機使用工作油から実施して切替完了

## 主要な環境活動計画の内容と達成状況・評価

環境目標	達成方法	達成状況(21/10~22/9)	評価
1) エネルギーの削減 【二酸化炭素排出量の削減】	①使用していない機器の電源OFF ②水銀灯の最適利用 ③温度計による室内温度徹底・扇風機 ④冷暖房のON/OFFの徹底(ガス機器・灯油) ⑤その他(昨年同様の活動継続)	目標: 470,008kg-CO <sub>2</sub> 実績: 292,503kg-CO <sub>2</sub> (177,505kg-CO <sub>2</sub> の削減)	◇電気: 牛久工場で実施した水銀灯使用の短縮(日の出ている時間帯は水銀灯使用を控えた) ◇軽油: ストーブ使用時に扇風機を回し空気の循環を良くした結果、灯油使用量減 ◆LPG: 今年の猛暑で冷房使用量が増基準値を大きく上回る結果となった
2) 廃棄物の削減 【廃棄物排出量の削減】	①ゴミ分別の徹底 ②材料の最適利用 ③納品時の梱包 ④その他(昨年同様の活動継続)	目標: 701,732kg 実績: 409,710kg (292,022kgの削減)	◇可燃ごみに入れていた紙類を資源ゴミで回収 ◇スクラップにしていた材料(コイル1周分)を有効に使用することで排出量を削減した ◇納品用のダンボール再使用を実施
3) 水資源の節約 【総排出量削減】	①蛇口の水漏れチェック ②その他(昨年同様の活動継続)	目標: 1,252m <sup>3</sup> 実績: 1,207m <sup>3</sup> (45m <sup>3</sup> の減)	◇今年の猛暑で牛久工場敷地内の植木等に水撒き夏場の使用量が増えたが目標は達成
4) 環境に配慮した製品の開発	①YSHの商品化(自社開発商品)	目標: 1製品 実績: 0製品	◇商品化に向け、国内外で交渉中 ◆海外との価格差がある
5) 環境に配慮した製品の販売促進 * YPシリーズ	①通信販売カタログ掲載 (アスクル・たのめ〜る・ネットリコー・その他)	目標: 73.1t 実績: 82t (8.9tの増)	◇自社製品のカタログ掲載が増え、国産で環境に良い製品として市場で認知されてきた
6) 不良品低減への取組	①部品梱包の変更 ②潤滑油・グリスの変更 ③工程外作業のデータ収集 ④その他(昨年同様の活動継続)	毎月の環境委員会・品質会議で不良状況の報告・工程外作業の手直し時間と不良率・廃棄額のデータ収集、情報の共有	◇部品輸送時の擦れキズを減少 ◇潤滑油の変更によりプレスで抜いた部品に油しみ減少 ◇データ収集と情報の共有で不良を未然に防ぐことができた
7) グリーン購入の推進	①事務用品全般のグリーン購入の推進 ②工作油脱塩素に交換	事務用品: 詰替え化推進 工作油脱塩素化 (プレス関係 済)	◇使用頻度の多いものから切り替え実施 ◇新たにグリーン購入品(コピー用紙・クリアファイル・綴り紐など) ◆工作油の切替 (以前の油に比べ割高)

### ①内部監査

昨年よりも不適合件数が減少したことから、活動を理解し、行動していたと判断できる。しかしながら不適合件数はゼロでは無く、改善の余地はある。今年度の環境マネジメントシステムについて、環境教育の実施の遅れ、環境計画の見直し、一層の意識改善が必要となり、各推進員の積極的な行動・指導が必要である。

### ②経営者による全体評価

エコアクションの活動が始まり、二年が過ぎました。

事務局を始め各推進員、内部監査員の皆様、ご苦労様でした。

社員一同、EA21の定着と環境意識の向上により環境目標の達成を評価したい。

次年度も更なる目標達成に向け、チャレンジしてください。

### ③事務局による全体評価(感想)

エコアクション21の取組を始めて3年目となる。

環境活動計画に基づき、昨年よりも環境目標を多くクリアすることができました。

来年はすべての活動においてクリアできるようEA21に励みます。

また昨年同様、「エコキャップ活動」に参加し、従業員の方の意識向上により、昨年よりも2倍以上のキャップを回収することができました。今後もこの活動を取り組みをしていきます。

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### ① 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

No.	法規名	遵守事項	遵守状況
1	水質汚濁防止法	油流失事故時の知事への届出	該当なし
2	浄化槽法	年1回の保守点検及び清掃	○
3	振動規制法	特定施設の設置届出、規制基準遵守	○
4	騒音規制法	特定施設の設置届出、規制基準遵守	○
5	廃棄物の処理及び掃除に関する法律	産業廃棄物の保管管理・マニフェストの管理 実績報告書の提出	○
6	家電リサイクル法	適正廃棄処理	○
7	消防法	灯油タンクの届出、市町村火災予防条例規制基準遵守 消防訓練実施	○
8	公害防止組織法	公害防止統括者及び管理者の選任と届出	○

上記の環境関連法規を遵守しており、違反はありませんでした。

### ② 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟に関して過去4年間に1件も発生しておりません。



### ●ペットボトルのキャップの収集活動

【実績】 ペットボトルのキャップ : 5, 200個 (昨年より2,400個増)

【累計】 キャップ 8, 000個 ワクチン 10人分

2年目の収集活動は従業員の意識が向上したことで、キャップの選別が社内に根付き、昨年よりも2倍以上集め、今回の活動で7人の子どもの命を救う手助けができます。今後も実施していきます。

### ●除草活動

両工場敷地内、緑地帯の除草作業を実施

### ●社会貢献活動

牛久工場周辺(奥原工業団地周辺)道路両側のゴミ拾い実施



### ●環境に配慮した商品

環境に配慮した商品の販売を開始

家庭用生ゴミ処理機 バイオクリーン(1kg・2kg)

EA21を通して環境意識が高まり、誰でも簡単にリサイクルを出来ないかと考え、生ゴミ処理機 バイオクリーンの販売をスタートさせた。バイオの力で投入した生ゴミの90%以上を1日で分解し、そして分解した生ゴミは土と混ぜることで有機肥料として利用できる。家庭のゴミを減らすことで焼却して出るCO<sub>2</sub>排出を抑えられる商品を販売。

